

Orchestra of Spring コロナウイルス対策ガイドライン ～練習編～

2020年9月5日作成

2021年4月22日更新

Orchestra of Spring では、練習を実施するにあたって、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために下記の対策を行います。なお、状況は日々変化しておりますので、変更がある際は速やかにご連絡致します。

【練習実施の判断にあたって】

練習実施の判断は、基本的に練習施設における判断に従うこととし、使用可能な場合は基本的に実施します。ただし、政府や東京都による強制力のある活動制限がある場合、団員の出欠状況により有意義な練習ができないと判断する場合のほか、周辺の感染者やクラスターの状況等によっては練習を中止する可能性があります。

【対面練習での対策】

- ① 練習会場では、できる限り、人と人の距離を1m程度取ります。
- ② 練習会場は、広さに余裕を持った会場を選びます。できる限り練習人数に対して倍の定員の会場とします。
- ③ 練習日の4日前～当日において、本人・家族に発熱・だるさ・息苦しさ等の症状がある場合は練習参加を控えるようにしています。また、練習に参加することに対して不安を感じる場合も、無理をせず参加を控えるようにしています。
- ④ 練習日当日は接触型体温計により検温を行い、37.5℃以下であることを確認し、練習カレンダーにて報告します。加えて、会場入口にて参加者全員にアルコール消毒・検温を行います。体温が37.5℃を超える場合は練習参加を控えるようにしています。
- ⑤ 席の間隔は、0.5m以上を確保します。可能であれば1m(Tp.Tb.Tub.は2m)とし、できるだけ距離を確保します。
- ⑥ 管楽器奏者は演奏中つば取り用の吸水シートを用いて、衛生面に配慮します。
- ⑦ 練習参加の際は、マスクを着用します。ただし、管楽器の演奏中は除きます。発言・会話する際はマスク着用が基本ですが、人と人の間隔を2m確保した場合は着用しなくても良いこととします。
- ⑧ 席交代がある場合、必ず席のアルコール消毒または席ごとの移動を行います。
- ⑨ 休憩時間に会場を出入する際は必ずアルコール消毒を行います。出来るだけパートごとで休憩の都度アルコール消毒を心がけます。その他、各自こまめな手洗い・うがい等行うこととします。
- ⑩ 1時間に1度を目安に会場の換気を行います。
- ⑪ 練習前後の食事は避け、会場への行き帰りは分散して移動します。特に電車・バスを利用する際は、同車両に密集して乗車しないように注意します。

参考：クラシック音楽演奏・鑑賞にともなう飛沫感染リスク検証実験報告書

Orchestra of Spring

団長 市川萌都

お問い合わせ：orchestra.of.spring@gmail.com